



平成31年4月23日（火）、熊本高等専門学校八代キャンパスの建設社会デザイン工学科の学生（45名）による現場見学会が行われました。

見学会では、発泡スチロールとゴムチューブを使用して主桁製作体験（ゴムバンドにてプレストレス導入）、完成後には架設を行い実際発泡スチロールの橋面を渡り、また、ドローン、3Dスキャンによる3次元測量、VRシステムによる転落・墜落、車両接触等の事故体験を行いました。

主桁製作体験の渡り初め時には「本当に大丈夫なの？」「何で渡れるの？」と慎重に橋を渡っていました。ドローン・3Dスキャン測量では、最新の測量技術に驚いているようで、VRシステムによる事故体験では、大きな声を出し、体を動かし、まるでゲームをしているように楽しんで体験していました。

また、この見学会には国土交通省、地元出水市役所、新聞社の方々も多く参加され、総勢70名を越える大人数での見学会でした。この見学会が進路の参考となり、将来の土木技術者への道へ進んでいただけたら幸いです。



主桁製作体験



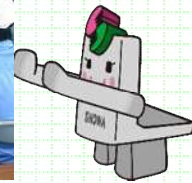
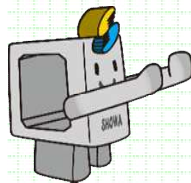
渡り初め



VRによる事故体験



ドローン・3Dスキャンによる最新測量技術



この模様は、鹿児島建設新聞と九建日報に掲載されました。

